





一部にあって組合長中々やる理とほめて  
いる向きもあるから、複雑カイキである。  
しかし、それはうがちすぎというものであ  
る。若し組合長として、重要事項通過に  
精神を集中した結果、議事進行に多少の  
不手際があったのは、やむを得ずと見るの  
が正しいであろう。

次に役員賞与辞退のモハシ劇があつ  
た。平理事(といつては失礼なれど)諸氏  
は自分らの働きで今期の利純を生んだも  
のではないからと云ふ理由で五コソトの  
賞与を辞退したのはい、時々募集さ  
れる役員会のベントウ代として別に組合  
から出すのなり賃つたとて少しもさしつ  
かえない。

組合長の賞与を決定する時今井監事  
んが立つて、堂々と述べたが、後ろでは  
こえなかつた。三十コソト位でどうです  
かと云うと、「少い、すくない」とどちが  
とんだ。「それでは五十コソトでは」と  
云うと、「まだ少いぞ、みんなやれ」と  
と、ところが五十コソト、贈与と決まると今  
度は忠雄さんが立つて、従業員を賞与  
が、そんな大金は、もらわれないと言ひおし  
た。たとえそれが総会の決議であらうと何  
であらうと、ワシはもらひませんとジン  
ギスカンの様な顔をしてはねのけるので  
あつた。

「ちとガンジヨウにござてやがな」  
従業員並ならつていふ所を見ると、いら  
んわけでもなからう。  
「ソレカイの決議をムシてよいものかど  
うか」  
「おじ伏せておれこんだり組合長やめる  
と云ひ出すぞ」  
と云ひ出すぞと云はれて色恋はむさるもので  
はない相である。忠雄さんにして見れば  
今迄の赤字を消して尙且、一千何百コソ  
トという利益を見たらんだ、その中から五  
十コソトばかりのハナタレ金を、みんなか  
らさめてもらつて、やがなし犬が一片の肉  
にありついたら、やがなし犬が一片の肉  
とあつては、ジンギスカンに對しても申  
しわけはないと思つたのであらう、頑とし  
て受けると言はないジンの強さに、鼻がし  
らのピンと鳴るのを覚えたのである。

思ひ起す、ニク者は前山組合長が  
二十六年春に渡伯十年記念に帰る時  
時組合は十コソト、贈る原案を出したか、  
ケン、ゴウ、決ることはさまつた  
が、あんな金じたいしませすと何故かは  
なかつたかと思つたことがある。二人ど  
はその邊を、「どうかもうつて下さじ、  
やもうつてやりん」  
「このおさまり、どうなりますやうも  
はやお時向といつてころだが、総会では  
可決した、本人は受取り人という結果は  
どうなるものであらうか。この左右は  
しほらく措き、忠雄さん、金に對する

# バストスでは 彼の岸會

来る三月十八日午後八時  
産業會館に説教

この日東本願寺  
大野開教師により  
彼岸會法要

並バストス同朋物故諸灵  
追善供養法要  
を営まれます

尚十九日午前中、自免にて御法事希望  
の方があれば至急御連絡下さい。大野  
師が出張して下さいませす。  
皆さま御さそい合せ御詣り下さる様  
御案内申上げます。

## バストス佛教會

態度は清篤といふか、潔白といふか常人  
の容喙しがたいものがある。組合長は十  
コソト進は月俸を受けて差支へないと決  
議されていても四コソトが五コソトしか  
引出してない。今夜の五十コソトは  
よびはない、手素引出してない。オレス  
トのようなものだと本田老は一生けん命  
説くのだが、理論は理論、心持ちは心持  
ど、はつきり割り切つて言ひさる忠雄さん  
の性根といふものは、そういへば今日や  
昨日にはじまつたものにはない。大小の  
差こそあれ、今までのよく似た例がいく  
つもあつた筈である。

金銭に恬淡をといふ事が人物を美しく  
見せるのは事実であるが、それは全部であ  
るわけはない。しかし金銭にいらしい  
は煩の人と對比したとき、それは云ふ迄  
もなく老いかいやく、  
昨年度の組合の利益は腕よりも違にあ  
つた。その邊にあまえてはならないといふ  
氣持が強く忠雄さんに働きかけるので  
あらう。

誰いうとなく忠雄を市長に推すの争が  
きこえる。やはり金銭に恬淡な点が多く  
の人の心さわよくひきつけるのであらう  
(赤音)





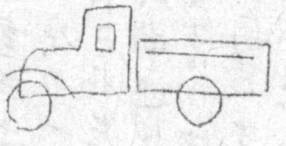


さらに台所に運ぶに少くとも三十はいで十五分はかかるだろう。すると水くみだけは一時間内外の時間がその為めに使はれて、いざ知らず知ることのできる、この様に少しでも生活上のことを又メロで出して見ると、何と生活にムダの多いことをみつけることが出来る。(了)

月

この話つゞけてゐたし月の庭  
凶作の畑白々と 夜々の月 水仙子  
カノア過ぐ碎けし月のやま寄り 北眠  
話はずみ 早もわが村月の道 系音  
原林をかたむき牧の月となり 天鼓  
ギタ弾いて踊るや月の庭に出て 修水  
いま去し曠野の月の大いなる 春歩  
椰子二本かたむきそよぶ月の空 千エ

小型カミニオン 賣物



シボレー 中古品  
ニ噸半 積み  
ガソリン消費少くて大変  
セイザイ的な車です

養鶏家などがご使用なさるのに  
恰ど手頃なカミニオンです

ホスト セツテの向い  
オフィーナ 阿部

カミニオン  
トラクター

でしたら 迅速 丁寧 親切  
を看板とする アベへ御下命下さい

オフィーナ 阿部

ホスト セツテの向い

恐縮 乍ら  
一九五四年度及それ以上の誌代未納の方  
方は御払込下さい 巴ストス週報社

御 礼

去る二月下旬 シャーカラ區漆いの畑において作業中、失火いたしました。最初の内は氣にもとめぬ位のものでした。が突風に煽られて忽ち燃えひろがり、附近の鶏舎へ飛び火でもしたら大変なことになるような形勢となりました。それを急いで花火を上げて応援を求めましたところ、シャーカーラ區の方々をはじめとして、あちこちより多数の方が駆けつけ、御助勢下さったので、類焼のこともなく附近の方々に御心配をかけたわけでも無いにも、実質的な御損害はかけずに済みました。

これと申すも皆様の御援助あったればこそと大変ありがたく思つて居ります。一々御挨拶にお伺ひ申すべきですが、暑儀下り紙上で御礼申上げます。どうも御多用中、おひまをとらせまして何ともすみません。ありがとうございました。

シャーカラ区 地境  
茂庭 喜亮

各位



おんなのかさ  
婦人日傘

parasol  
自動車にのつて日傘を忘れた方は  
ありませんか(三月四日頃)  
細江 自動車会社 に預つて居る  
故、心あたりの方はとりにおいで下さい

Radio (Imposto)

ラジオの聴取税

わづか 金十針  
三月中におさめて下さいよ  
ユービン 局へ



# オニバス 乗合は何回

バスロス(停留所)を  
通るでしようか?

ロンドリーナ、マリリア、フルテンテ、など大  
北のは別としてバスのような小さな  
田舎町(失礼)には過ぎたるポイントがバ  
ストスの中央程より処にでんと坐つて、  
しかも猶得な時計塔の尖塔はるかマバユ  
キばかり空にそびえ立っている。朝早く  
から夜にかけて北はツパン南はランシヤリ  
ア方面から瀕々として出入りするオニバスは  
一体何回位そのポイントに立よつて一服し  
てゆくものであろうか。その為めに大し  
た金がバストスへ落ちる程の事もあるが  
うがスーと警笛をならして通過する  
だけでも悪い氣持ちはしないものだ。し  
よとするとバストスにエスタツソンが  
できて汽車が通るようになったらせ  
めてツパンの半分位の所にはなつていた  
であらうに二十三年も夢を抱いてまわつて  
いた老人半老も、いまはせめても汽車を  
バスにのりかえて警笛一声いさましくは  
マバユストスをはなれたり、とあきらめ  
てゐるのである。  
スエホの加藤さんが嘗てバストスの交  
通の要衝にあたる重要性を礼讃して南木  
のシカゴと呼はれるに至るであらうなご  
といつてバストス人を花はせだが、シカ  
ゴは別としてノロ線、パ線、ソロ線を結  
ぶ要衝であり現在オニバスがいやでもこ  
こを通過するところを見るとマンホウか  
も無い氣がするのである。(下段へ)

来る三月十七日(木)

夜 七時半開場 八時始の

## 生長の家講演會

小原知三良 先生  
寺前文 先生

隨行の寺前先生は一流の女流辯士で  
火を吐く如く熱辯必すや皆様の胸奥  
深く印家をのこすことと信じます

ごなれども 入場無料

産業會館

生長の家

バスロス連合誌友相愛會

## オニバス 時間表(バスロス登)

トツパンよりロンドリーナへ	午前 七時四〇分
ランシヤリアよりトツパンへ	午前 七時四〇分
モンテイロ川バスストップトツパン	午前 八時三〇分
マサツへより トツパン	午前 九時〇〇分
トツパンより フ・フルテンテ	午前 九時三〇分
ロンドリーナより トツパン	午前 十時(十時三十分)
ランシヤリアより トツパン	午前 十一時三〇分
トツパンより フ・フルテンテ	十二時(正午)
ロンドリーナより アラサツ	午後一時三〇分
アラサツより ロンドリーナ	午後一時三〇分
フ・フルテンテより トツパン	午後一時三〇分
トツパンより ランシヤリア	午後一時
トツパンより マサツ	午後二時
ロンドリーナより ツパン	午後二時二〇分
トツパンより ランシヤリア	午後四時五〇分
ロンドリーナより トツパン	午後五時三〇分
フ・フルテンテより トツパン	午後八時三〇分

此の外イタクリ行オニバス八回

## ほんとうなら 大変

養鶏家へ御註進

過日末の雨でニューカッスル病に最も  
適宜な氣候になつたのであろうか。養  
鶏市ジャバクワラにニューカッスル病が  
生じたので聖市附近ではスワとホカリ色  
のさ立っているとの事がある。ジャバクワ  
ラといふは有名な料亭アオヤギの鎮座ま  
しますところ。けいさがいとてトリ屋  
さるじやバクワラ方面にはエメ行くまい  
を、さる物好きのとりにしるべによれば、ニ  
ューカッスルの震源地はジャバクワラに  
住む一伯人が僅か六七十羽のトリをさう  
だからよしや全滅したとて何とかなるが  
バスロス如く五十万かりの大世帯へ登  
其されたら大変だ。バスロス入場はセツ  
ツイおことわりいたします。対策イイン  
会しつかりたのみです。



